

第2回 公開シンポジウム

京都・梅小路公園に水族館?

環境モデル都市
京都に水族館?

ほんまに
ほんま?

～生物多様性から考える～

2010年9月9日(木) 開演 18:00 終演 20:45

京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 大会議室

入場
無料

第1部 講演 川那部 浩哉 京都大学名誉教授 [理学博士]

「生物多様性と人の営み」

～乗鞍岳の生物多様性保全のために
チューリップを植えようとした人々の話、その他～

第2部 講演 幸島 司郎 京都大学野生動物研究センター教授

「動物研究者から見た水族館問題」

司会進行

第3部 対談 川那部 浩哉 × 幸島 司郎 + 梶田 真章

「京都水族館建設の意味を問う」



梅小路公園

開催趣旨

「京都市下京区の梅小路公園の一角に、オリックス不動産株式会社が国内最大の内陸型水族館の建設を進めています。5月14日、京都市が都市公園法に基づき水族館建設の設置を許可し、7月に建設工事が開始されました。

6月1日付の市民しんぶん「京都市は「京都にいながら海の体験が可能に!」と謳いました。環境モデル都市を掲げる京都市長が「なぜ恵まれた山や森や川での環境学習ではなく、わざわざ民間企業に賃貸料を下げてまで市有地を提供し、イルカショーを呼び物にする水族館建設を推進しよう」とされているのか、京都水族館(仮称)は環境学習施設ではなく娯楽施設であり、人間が自己中心的な愚か者であることを教えるだけの場になるのではないか」等の疑問に正面から答えられることなく水族館の設置を許可されたことに私は哀しみを覚え続けております。

当会では、今一度、立ち止まり、生物多様性の視点から水族館建設の意味を検証したく存じます。

どうぞご参集下さい。合掌」



法然院 貫主
梶田真章

会場：京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 大会議室 (TEL 075-222-1777)
京都市営地下鉄烏丸線「九条町」駅下車5番出口地下鉄連絡通路にて連絡

定員：200名 (先着順、事前申込不要、当日、会場にお越しください)

参加費：無料 (会場でカンパを募りますので、ご協力ください)

主催：「京都水族館(仮称)と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会

(法然院、日本環境保護国際交流会(JEJ)、アートステーション567、財団法人啓明社、いさみの多様性研究所(福平院))

お問合せ先：〒604-8862 京都市中京区壬生森町13-34 いさみの多様性研究所内

「京都水族館(仮称)と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会事務局

URL: <http://www.sonet.ne.jp/gpu03325/caring.html>

E-Mail: inst.biodiversity@gmail.com TEL・FAX 075-203-6449



第2回 公開シンポジウム

京都・梅小路公園に水族館？

環境モデル都市
京都に水族館？

ほんまに
ほんま？

～生物多様性から考える～

2010年9月9日(木) 開演 18:00 終演 20:45

京都府立総合社会福祉会館ハートピア京都 大会議室

入場
無料

講師プロフィール (敬称略)

かわなべ ひろや

川那部 浩哉

京都大学大学院理学研究科博士課程(動物学専攻)修了、
同大学・助手・講師・助教授・教授・生態学研究センター長を経て、
1996年4月～2010年3月、滋賀県立琵琶湖博物館館長(現在は名誉学芸員)、
日本生態学会元会長。

専門は生態学。特に群集関係の生態学、生物文化多様性論。

著書は「生物と環境・川魚の生態を中心に」(人文書院)、

「川と湖の生態学」(講談社学術文庫)、

「生物界における共生と多様性」(人文書院)、

「魚々食紀—古来、日本人は魚をどう食べてきたか」(平凡社新書)、

「生態学の「大きな」話」(農山漁村文化協会)、

「対談 琵琶湖博物館を語る 1996～2006」(サンライズ出版)、

「深泥地の自然と暮らし—生態系管理を目指して—」(サンライズ出版)他多数。

こうしま しろう

幸島 司郎

1955年、名古屋市に生まれる。

1974～85年、京都大学理学部入学と同時に山岳部に入部、

山登りに精を出し過ぎたためか、

学部6年、大学院5年(動物学教室)の長い学生生活を送る。

1985～89年、日本学術振興会奨励研究員および特別研究員。

1989～90年、無職(自称フリーサイエンティスト)。

立山やアマゾンへ出稼ぎに行っただけ。

1990～2008年、東京工業大学理学部助教授。

後に大学院生命理工学研究科准教授。

2008年より京都大学野生動物研究センター教授。

専門は動物行動学、生態学、雪氷生物学。

写真はすべて、梅小路公園にて



主催:「京都水族館(仮称)と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会

(事務局:日本環境学連盟文化委員会(1133)、アートスペースM7、京都法人養護社、いさみの多様性研究所(協賛))

お問い合わせ:075-64-3962 京都府中京区壬生森町13-14 いさみの多様性研究所内「京都水族館(仮称)と梅小路公園の未来を考える会」実行委員会事務局

URL: <http://www.eonet.ne.jp/~qz03325/caring.html> E-Mail: mr.biodiversity@gmail.com TEL・FAX: 075-203-6447